

「JENESYS2.0」

2016 年度中国高校生訪日団第3陣Aコース

訪問日程 平成28年11月8日（火）～11月16日（水）

1 プログラム概要

中国教育部が派遣した2016年度中国高校生訪日団第3陣Aコース計124名が、11月8日から11月16日までの8泊9日の日程で来日しました。（団長：華偉（ファ ウェイ）甘肅省教育庁 弁公室 副主任）

本事業は「JENESYS2.0」の一環として行われ、訪日団は、東京都をはじめ、長野県、群馬県、栃木県、岩手県、新潟県、岐阜県、神奈川県を訪問し、「クールジャパン」を含め、さまざまな分野における日本の魅力、強みを体感したほか、高校や大学の訪問・交流を通じて、同世代の青少年同士の友好交流と相互理解を深めました。

2 日程

11月8日（火）

第1・2・3分団：羽田国際空港より入国、明治神宮見学

第4分団：成田国際空港より入国

共通：オリエンテーション

11月9日（水）

先端技術に関する講義、明治大学訪問、歓迎会

11月10日（木）

共通：日本科学未来館視察

第1分団：長野県へ移動

第2分団：栃木県へ移動、商業施設視察

第3分団：群馬県へ移動、商業施設視察

第4分団：岐阜県へ移動、商業施設視察

11月11日（金）

第1分団：学校交流（長野県飯山高等学校）

第2分団：学校交流（栃木県立烏山高等学校）

第3分団：学校交流（東京農業大学第二高等学校）

第4分団：学校交流（岐阜県立恵那農業高等学校）、ちこり村見学（栗きんとん絞り体験）、角山製陶所見学（絵付け体験）

11月12日（土）

第1分団：彫金手すき和紙体験工房見学、体験プログラム（民泊・長野県飯山市）

第2分団：なががわ水遊園見学（草木染め体験）、大雄寺見学（座禅体験）、体験プログラム（民泊・栃木県大田原市）

第3分団：富岡製糸場見学、社会教育館見学（抹茶体験）、体験プログラム（民泊・群馬県みなみ町）

第4分団：サイエンスワールド視察、体験プログラム（ホームステイ・岐阜県美濃加茂市）

11月13日（日）

第1分団：体験プログラム（民泊）、ホストファミリー歓送会、群馬県へ移動、商業施設視察

第2分団：体験プログラム（民泊）、ホストファミリー歓送会、岩手県へ移動

第3分団：体験プログラム（民泊）、ホストファミリー歓送会、新潟県へ移動

第4分団：体験プログラム（ホームステイ）、ホストファミリー歓送会、神奈川県へ移動

11月14日（月）

第1分団：学校交流（桐生市立商業高等学校）、ワークショップ

第2分団：盛岡セイコー工業株式会社視察、学校交流（岩手県立盛岡農業高等学校）、ワークショップ

第3分団：学校交流（新潟県立巻高等学校）、ワークショップ

第4分団：学校交流（神奈川県立神奈川総合高等学校）、ワークショップ

11月15日（火）

共通：東京へ移動、歓送報告会

11月16日（水）

第1・2・3分団：羽田国際空港より帰国

第4分団：明治神宮見学、羽田国際空港より帰国

3 写真

<共通>



11月9日 先端技術に関する講義

東京大学 木内 学 名誉教授（東京都）

11月9日 先端技術に関する講義

東京大学 木内 学 名誉教授（東京都）



11月9日 明治大学訪問（東京都）

11月9日 歓迎会 甘肅省教育庁弁公室 副主任
華 偉 団長挨拶（東京都）



11月9日 歓迎会 東京都立若葉総合高等学校の学生のパフォーマンス(東京都)



11月10日 日本科学未来館(東京都)



11月16日 歓送報告会 華偉団長挨拶(東京都)



11月16日 歓送報告会 訪日成果報告(東京都)

<第1分団>



11月11日 長野県飯山高校訪問・交流(長野県)



11月11日 長野県飯山高校訪問・交流(長野県)



11月12日 彫金手すき和紙体験工房見学（長野県）



11月12日 彫金手すき和紙体験工房見学（長野県）



11月12日 体験プログラム（民泊）（長野県）



11月12日 体験プログラム（民泊）（長野県）



11月13日 ホストファミリー歓送会（長野県）



11月14日 桐生市立商業高校訪問・交流（群馬県）



11月14日 桐生市立商業高校訪問・交流（群馬県）



11月14日 ワークショップ（群馬県）

<第2分団>



11月11日 栃木県立烏山高校訪問・交流（栃木県）



11月11日 栃木県立烏山高校訪問・交流（栃木県）



11月12日 なかがわ水遊園見学（草木染め体験）（栃木県）



11月12日 大雄寺見学（座禅体験）（栃木県）



11月12日 体験プログラム（民泊）（栃木県）



11月13日ホストファミリー歓送会（栃木県）



11月14日 盛岡セイコー工業株式会社視察（岩手県）



11月14日 岩手県立盛岡農業高校訪問・交流（岩手県）



11月14日 岩手県立盛岡農業高校訪問・交流（岩手県）



11月14日 ワークショップ（岩手県）

<第3分団>



11月11日 東京農業大学第二高校訪問・交流
(群馬県)



11月11日 東京農業大学第二高校訪問・交流
(群馬県)



11月12日 富岡製糸場見学 (群馬県)



11月12日 社会教育館見学(抹茶体験)(群馬県)



11月12日 体験プログラム(民泊)(群馬県)



11月12日 体験プログラム(民泊)(群馬県)



11月13日 ホストファミリー歓送会（群馬県）



11月14日 新潟県立巻高校訪問・交流（新潟県）



11月14日 新潟県立巻高校訪問・交流（新潟県）



11月14日 新潟県立巻高校訪問・交流（新潟県）

<第4分団>



11月11日 岐阜県立恵那農業高校訪問・交流（岐阜県）



11月11日 岐阜県立恵那農業高校訪問・交流（岐阜県）



11月11日 ちこり村見学（栗きんとん絞り体験）
（岐阜県）



11月11日 角山製陶所見学（絵付け体験）（岐阜県）



11月12日 サイエンスワールド視察（岐阜県）



11月12日 体験プログラム（ホームステイ）
（岐阜県）



11月13日 ホストファミリー歓送会（岐阜県）



11月14日 神奈川県立神奈川総合高校訪問・交流
（神奈川県）

	
11月14日 神奈川県立神奈川総合高校訪問・交流 (神奈川県)	11月14日ワークショップ（神奈川県）

4 参加者の感想（抜粋）

○ プログラム参加前は、日本に対して美しい国という印象を持っていたが、来日後、日本は美しいだけでなく、私達にとって学びに値するところがたくさんあり、尊敬すべき国であることを発見しました。

○ 長野県飯山高校での交流では、言葉のコミュニケーションはスムーズにいきませんでしたでしたが、様々な方法でお互いの意思を伝え合う事が出来ました。日本の高校生の生活が豊富で多彩なことに驚きました。彼らは一日中ただ勉強するというのではなく、様々な素晴らしい授業があり、活発でリラックスした、且つ厳肅さを失わない授業の雰囲気の中で知識を得て、視野を広げていました。もしかするとこれこそが先進国における優れた教育の表れかも知れません。即ち、高校教育では、主として個性を伸ばし、自我意識を培い、視野を広げ、思考力を鍛えます。そして大学での教育で更に造形を深め、リーダーとしての人材育成を行うということです。日本の高校生達は中国の学生たちの勉強の過酷さに皆驚いていました。

ホームステイでは、ホストファミリーのお爺さん、お婆さんと交流する時、英語すら通じず苦労しましたが、家の中はとても温かい雰囲気、ほの暗い明りのもと、皆で落ち着いて食事をしながら、各自の家庭のことを紹介し合いました。花子お婆さんが最後に見せた涙に、私は真心を感じ、心を打たれました。

○ 日本人が皆礼儀正しくもてなし上手であることが印象深かったです。礼を重んじると言われる中国生まれの私も少し恥ずかしく感じました。東京の街並みを車で走っていると、道路も家も車も、何もかもが新しく作られたもののように見えました。トイレも非常に綺麗で科学技術の力、日本が科学大国であり、また人材豊かなイノベーション大国であることを感じました。日本で最も印象に残ったのは日本人の人間性、環境の管理、科学技術の発展、そして日本人の中国への友好的な態度です。帰国後、家族や友人に伝え、日本への理解を深めてもらいたいです。

○ 鳥山高校訪問では日本の学生の部活動の多彩さ、スポーツや芸術に対する情熱を感じました。中国の教育制度では知識は広がりますがその他の能力の育成は欠如しています。盛岡農業高校では科学に関する実践の経験が豊富で、今後の実習や仕事のための良い基礎が作られるよう、学生の勉学への興味を増進させるような空間が提供されていました。中国では実践に欠け、理論だけに陥りがちなので、それ

では将来の発展には不利だと感じました。

○ 日本人は公共の場所において自ら並んだり小声で話したりします。他人に迷惑をかけません。節約を心がけ、紙の1枚も無駄にせず、様々なものを回収し再利用しています。時間の概念を強く持ち、通常、設定時間の5-10分前には着くようにし、遅刻はしません。自己管理をし、自分のゴミは自分で片付け、身の回りを自分で綺麗にし、公共の場所では自分のやるべきことを自覚し、誰が見ていようが見ていまいが規則を守ります。

○ 一番印象深かったのはホームステイです。約一日の時間で沢山のことを体験し、日本人の友好的で純朴な態度を体感しました。ホームステイ先のお年寄りの夫妻が日本人の日常的な文化や温泉文化、農業文化を体験させてくれ、夜には私たちを星の観察に連れて行ってくれました。ご夫妻は大変親切で私たちは言葉は通じませんがいろいろと楽しく交流しました。大変よく面倒を見ていただき、短い時間でしたが大変深く印象に残っています。

○ 最も深い印象を受けたのは、訪日期间中に誕生日を迎えた分団の二人の学生のことです。二人の誕生日はちょうど学校訪問の二日間に当たっていました。私たちは事前に誕生日のことについて何も言っていませんでしたが、日本の学生はちゃんと中国の学生の誕生日を調べていました。そして交流の時に日本の学生が誕生日の二人の学生のために簡単なお祝いのセレモニーを開いてくれました。ささやかながら、大変感動したセレモニーでした。

○ 日本は街や道路が清潔で整っており、そしてそれをハイスピードに発展させ、十分に普及させるための科学技術を持っています。日本人は情に熱く面倒見が良く、衛生面を重視し、消毒液で手を洗う習慣があり、風邪が流行する間には管理を強化します。このことから、日本政府が日本国民の身体の健康を非常に重視していることが分かります。

○ 学校での交流会が最も印象に残っています。お互い違う言語を使っているにもかかわらず、日本の高校生たちの情熱のおかげで、短い時間でしたがとても楽しい時間を過ごすことが出来ました。帰国後必ず友人や同級生たちに自分の体験を伝え、日本と中国の友好が末長く続くよう、日本の学生たちの友情を教えたいです。

○ ホームステイが最も忘れられないプログラムになりました。最もシンプルかつ直接的な方法で日本の日常生活を体験し、日本の一般市民の温かい歓待を受けました。帰国後、中国の家族や友人に今回の楽しい体験や、日本独特の文化や教育、未来への発展の理念を共有したいです。

○ 短い時間でしたが、一生忘れ難い経験を得ることが出来ました。訪日前研修を受けるため、北京に向かう列車に乗った私たちは皆、今回の訪日への期待と憧れに胸をふくらませていました。北京では様々な講義を受けました。日本滞任がトラブルなく順調に進むよう先生方が教えてくれたことをしっかりと学びました。今回が初めての訪日だったため、日本のすべてが新鮮に映り、特にゴミ一つ落ちていない大変清潔な街並みに深い印象を覚えました。すべてが整然と秩序立っており、清潔で快適に感じました。大都市の人々は、速いリズムの生活を送っているにも関わらず、人々とすれ違う時は微笑みをた

たえ会釈し相手に敬意を伝えていました。ここで身をもって日本人の、他人には迷惑を掛けないという精神、そして身分の高低に関係なく礼儀正しく接するという美德を感じました。日本の科学技術施設の見学では、日本の先端技術の魅力を体感しました。学校交流では同年齢の高校生と一緒に授業を受けたり、ゲームをしたりして日本の教育モデルへの理解を深めることができました。数多いプログラムの中で、一番印象に残り、感慨深かったのはやはりホームステイでした。現地の住民の家に泊まり、日本人の住居や飲食や生活習慣など日本文化への理解を深めると同時に中国と日本の文化の違いを発見しました。ホストファミリーは温かく接してくれ、心から楽しく過ごすことができ、彼らの細やかな心遣いは忘れ難いものとなりました。訪日プログラムは間もなく終わりを迎え、名残惜しさはありましたが、帰国後は家族友人をはじめ、周囲に日本での見聞を伝えていきたいです。また、周りの人に日本人は科学教育を大切にしていることや日本では誰もが礼儀をわきまえていること、環境を大切にしていること等を伝えたいです。今回の訪日は私の人生の中で大切な学びを得る機会になったと確信しています。とても大切なものを得ることが出来ました。